

「キー・コンピテンシー」を考える

ーニュービジネスの担い手としての能力強化(empowerment エンパワーメント)の具体的方法とはー

開倫塾 林 明夫

1. はじめに

(1) OECD の PISA(15 歳時学習到達度国際テスト)調査結果の分析

- ①なぜフィンランドが総一位なのか ー教師の力量ー
- ②なぜ韓国が読解力一位なのか ー大学入試の一般化と「学院」の教育力ー
- ③日本の不振の原因は、その対策は
 - (a)とりあえずは、読書量を 1 桁増やすこと
 - (b)新聞を毎日 1 時間読み考えること

(2) OECD の PISA 調査や全国学力調査、新学習指導要領の根底に流れる学力についての考え方「キー・コンピテンシー」の内容とは

- ①道具を相互作用的に用いる能力とは
- ②異質な集団で交流する能力とは
- ③自律した活動をする能力とは

2. ニュービジネスの担い手としての能力とは

- (1)問題発見能力
- (2)原因追及能力
- (3)問題解決能力
 - ①応急措置能力
 - ②制度設計(システム変更)能力
- (4)製品化、商品化能力
- (5)組織編成能力
- (6)販路開拓能力

3. おわりにー能力強化(empowerment エンパワーメント)、自己育成の方法ー

(1) 積み重ねの方法

- ①記録
- ②きれいに書いて整理
- ③あとでいつでも取り出せるよう分類保管

(2) 教えてもらう環境づくりー教わり上手になるためにはー

- ①感謝の気持ちを表現する
- ②相槌の打ち方を上手に
- ③文句や叱責も、教わっているという形で受け取る

(3) 自己育成の予算化

- ①手取収入額の 10 % 以上
- ②時間も使う

＊以上、渥美俊一著「チェーンストア能力開発の原則」実務教育出版、平成 17 年刊(1359 円)

76 ～ 81 ページ

《推薦図書》名著「隷従への道」の最良の入門書
渡部 昇一著 「自由をいかに守るかーハイエクを読み直すー」 PHP新書 2007年11月29日刊 800円

(4) 会社側でできること

- ①東洋の条件の明示ー「～の能力が身に付けば、に登用する」ー
- ②研修機会の提供ー Education For All の精神でー
- ③企業内創業の促進、支援

(5) 北関東をニュービジネスのクラスター(集積地)に

- ①公的サービスの民間開放
- ②規制改革(農業・林業、医療、教育、保育 etc)
- ③対内直接投資の促進(栃木県の国際化)
 - (a)外国人労働の促進
 - (b)外国人ビジネスマンの住みやすい環境整備
- ④道州制の最終準備を
 - (a)国、州、基礎自治体の仕事の分類
 - (b)基礎自治体(人口 30 万都市)の魅力・独自性づくり、北関東州の魅力・独自性づくり
 - (c)最終的には自己責任、自助努力
 - ー国際競争力のある「北関東州」「基礎自治体」づくりー
 - ー地域の「ソフトパワー」を磨き込むー

以上